

令和6年度 第4回 和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会 議事要旨

【会議概要】

- ・日 時：令和7年3月28日(金)15:30～16:15
- ・場 所：和泉市コミュニティセンター1階大集会室
- ・欠席者：中村委員、釈迦戸委員、加納委員、辻村委員、杉田委員、小林委員

【次第】

1. あいさつ
2. 委員紹介
3. 議案
 - 1) 路線バスの一部見直しと代替交通案について
4. 報告
 - 1) 令和7年度
 - 「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト
 - 「交通空白」解消緊急対策事業について
5. その他

【議事概要】

1. あいさつ

森吉委員長：本日はお忙しい中、ご出席いただき、また本市の公共交通行政をはじめ、市政にご協力いただき感謝申し上げます。2025年大阪・関西万博の開幕を目前に控え、本市でも様々な取組みを展開して盛り上げていきたいと考えているが、今回の万博は、スマートモビリティ万博とも言われ、カーボンニュートラルが実現された未来社会の姿を描き出す企画が用意されている。その中ではレベル4の自動運転などの実証も行われるということで、乗務員不足の問題を解消する切り札として期待されるわけだが、無人タクシーのサービスが普及している中国の北京や武漢といった都心では、乗務員不足の解消や黒字化に転じる一方、事故発生の報道もあり、安心・安全な社会環境の実現に向けて、解決すべき課題はまだまだ山積している。全国的に深刻化する乗務員不足や2024年問題が容赦なく押し寄せており、本市の中山間地域においてもバス路線が維持できない緊急事態となっている。4月から市の方で代替交通を一定数確保していくが、市民の皆さまや万博を機に増加が見込まれる来訪者の移動環境を整えていく取組みも委員の皆様と連携し、本市における持続可能な公共交通の取組みを今後も進めていきたいと考えてい

る。4月からの路線バス再編と代替交通に関する内容を中心にお示しする。委員皆様には、地域公共交通の活性化とともに、地域の移動手段の確保策に向けて委員の皆様と連携し、本市における持続可能な公共交通の取り組みを今後も進めていきたいと考えている。本日の議案について、皆様には多様な観点からご審議いただきたい。

2. 委員紹介

(省略)

3. 議案

1) 路線バスの一部見直しと代替交通案について

(中井委員より資料1、事務局より資料2の説明)

伊勢副委員長：事務局からの説明について質問や意見等はあるか。

園田委員：チョイソコの範囲が広がっているが、台数は1台で運用か。

事務局：4月1日以降の運用台数は1台である。

園田委員：今回、運行エリアを拡大し、範囲が広がっているが、1台で運行可能だと考えているのか。

事務局：4月1日以降の利用状況については、運行しないと分からない現状であり、まずは1台で運行してみて、利用状況をみながら、運行台数を検討していく。

園田委員：これから利用者が増えたら、台数を増やすことも検討の余地があるとのことか。

事務局：利用状況により、検討していく。

伊勢副委員長：1点だけ確認だが、天野山線について、河内長野市との協議もあって状況がはっきりしない限りは議論が進まないと思うのだが、大体どのぐらいのスケジュール間で議論を進める検討をしているのか。

中井委員：内容については、現在、河内長野市と協議しており、今のところ未定である。決まり次第、速やかに連携を行う。

伊勢副委員長：ぜひ、お願いしたい。来年度の本委員会の中で、議論が出来るということ。この件について、ご異議ないか。

(一同異議なし)

伊勢副委員長：この件について、ご異議がないということで承認いただいたので、事務局は計画に沿って進めていただきたい。

4. 報告

1) 「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト

「交通空白」解消緊急対策事業について

(事務局より資料3の説明)

伊勢副委員長：事務局からの報告について質問や意見等はあるか。

伊勢副委員長：自治体が交通空白と認める地域が要件となっているが、これは自治体ごとに交通空白の定義が異なると思う。これは自治体の定義に沿った要件になるという解釈か。今日、国の方が来ていないので、本来は国の方に聞くべきところだが、もしご存じであれば教えていただきたい。

事務局：国費の活用にあたって、事前に大阪府を通じて交通空白に関するアンケートがあり、今回の路線廃線する地域を市として回答している。この補助対象事業に合致するというところで報告に至った。

伊勢副委員長：和泉市が作成した交通計画の中では交通空白になる。それで進めているのなら、問題はない。

井本委員：先程の補足ですが、近畿運輸局から調査を依頼され、府内の中で交通空白を抱える市町村・そのエリアを調査した。府内の市町村を取りまとめて近畿運輸局に報告している。そこで空白を定義付けていることプラス、国の交通空白プラットフォームという会議体があり、そこに参画しているという条件でこの補助金が使えたと聞いている。

井本委員：追加の質問で確認だけだか、運輸支局かもしれないが4月1日から運行する維持バス父鬼・春木川・松尾寺ルートに関して、この補助金を使うということですが、採択が4月中で運行後になるが、とくに問題ないか。

事務局：今、この補助金について公募があり、申請している段階である。国の方も急遽、交通空白に係る補助金が出来たので、採択の予定としては4月と聞いてはいるが、実際には採択する日付については、4月以前になるであろうと考える。

井本委員：運行が始まっているものではあるが、補助金の対象になると調整をされているということか。

事務局：はい。

伊勢副委員長：採択が4月以前で、本日3月28日だが、そういうスケジュールなのか。

事務局：現在、急ぎ審査していると聞いている。

伊勢副委員長：他にご意見がないので、タイトなスケジュールになるかと思うが、運輸支局と相談しながら、事業を進めていくようお願いする。

4. その他

藤原委員：この場をお借りして挨拶をさせていただく。様々な形で広報はさせていただいているので、皆様ご存じかと思うが、弊社泉北高速鉄道ですが、4月1日に南海電気鉄道と合併する。長らく泉北高速鉄道としてご利用いただいていたかと思うが、4月1日からは南海泉北線として新たにスタートする。合併に伴い、特に運賃値下げとして、今まで2社に分かれていたので、初乗り運賃がダブルにかかる

ような運賃の仕組みであったが、そちらが解消される。普通運賃に関しては今まで少し特別に割引していたが、特に通勤定期、通学定期、大幅な値下げを予定している。通勤定期で平均 23.5%割引、通学定期で 38.8%割引とかなり大幅な値下げになると考えている。4月1日から南海泉北線としてリスタートするが、値下げもするのでこれまで以上にご利用いただければと思う。このプロジェクト委員会に泉北高速鉄道として参加することは今回で最後だが、次回以降、南海電気鉄道の担当部署の方が参加することになる。現在、委員になる方を選定中である。これまでご利用いただき、感謝する。

5. 閉 会

事 務 局：本日は長時間にわたり熱心に議論いただき、感謝申し上げます。これにて本日の和泉市公共交通活性化プロジェクト委員会を閉会する。

以上

【会議の様子】

